

コーヒー発祥の森は消えてしまうのか？ -エチオピア森林コーヒーの保全と付加価値化-

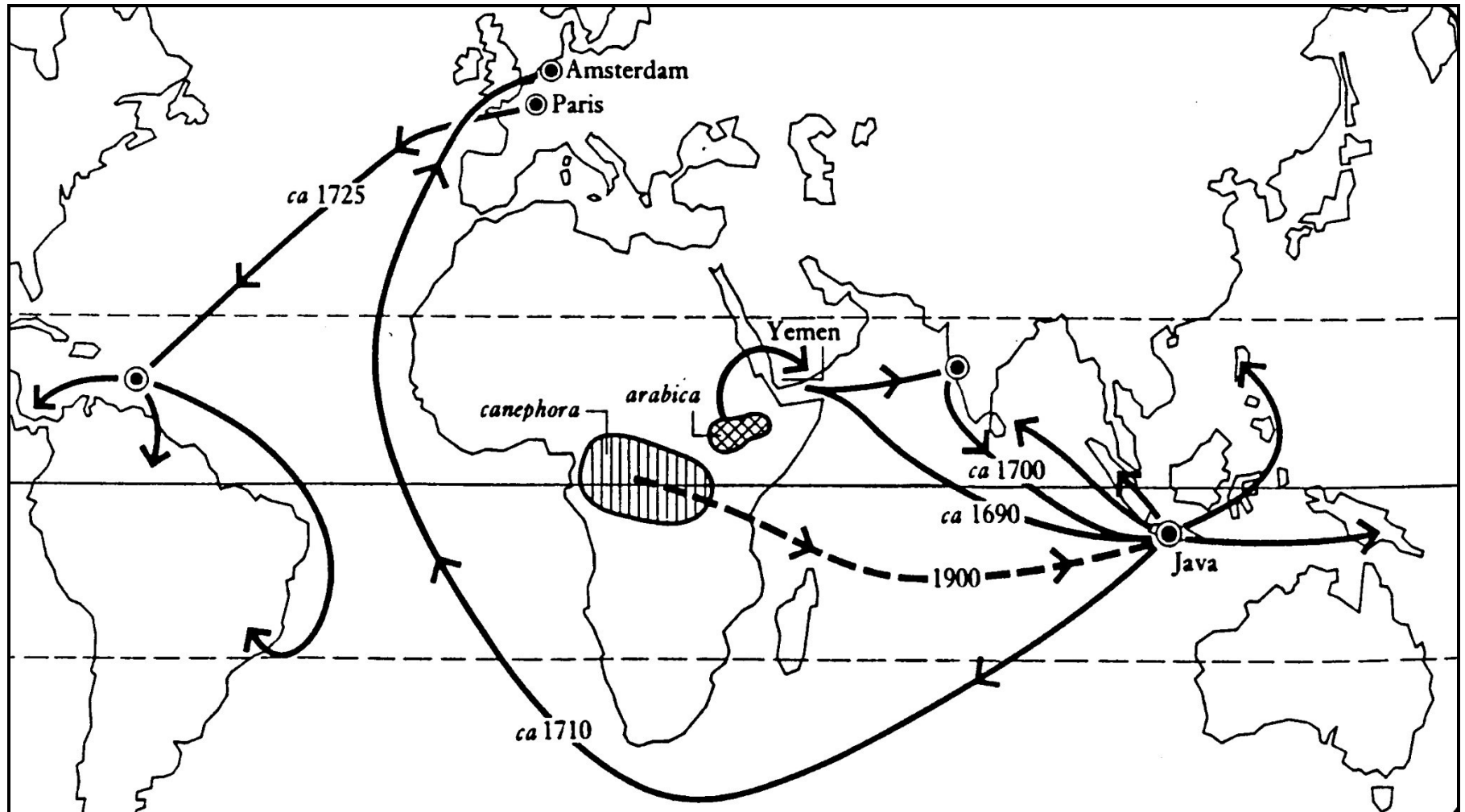


2020年8月29日

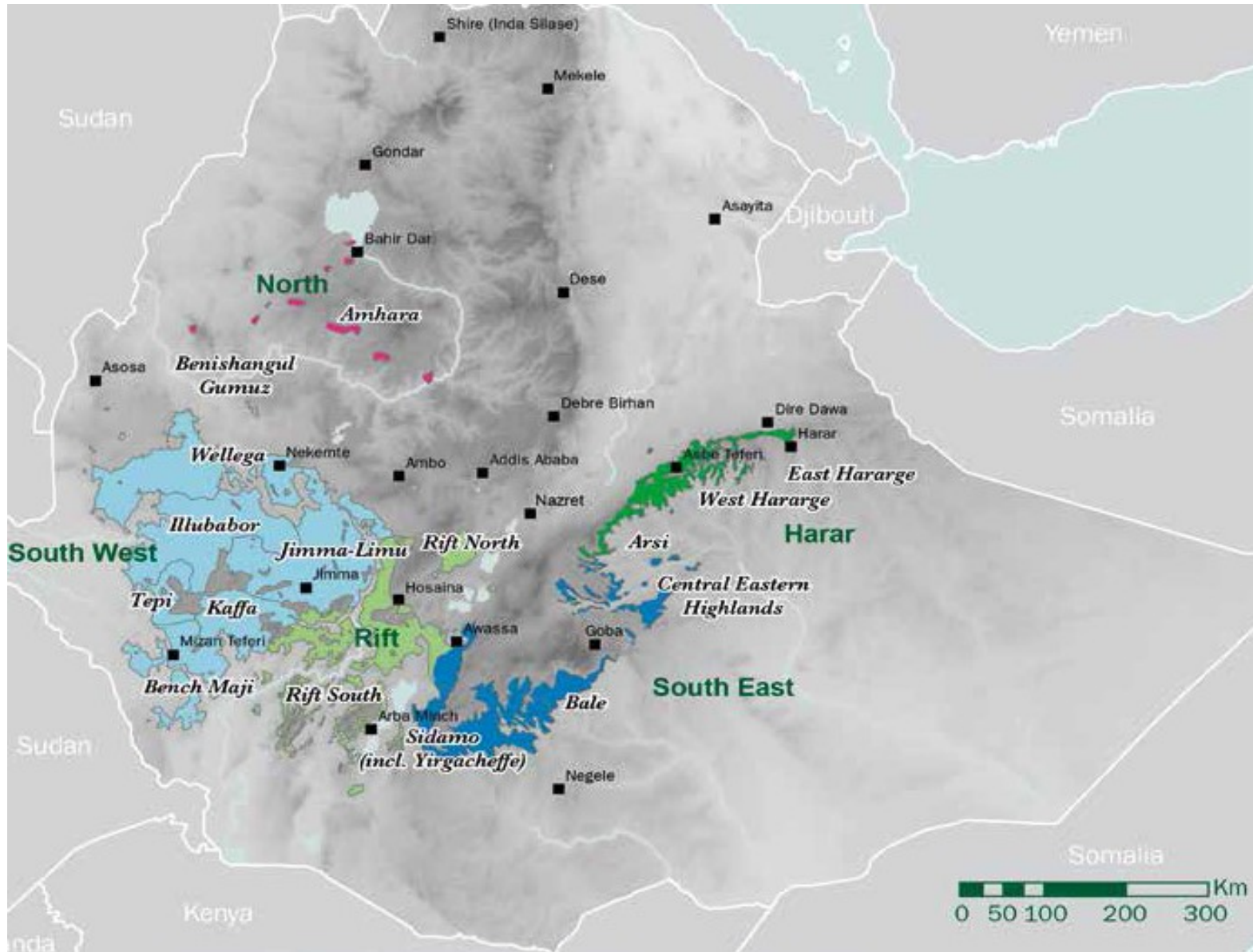
吉倉 利英

国際耕種株式会社

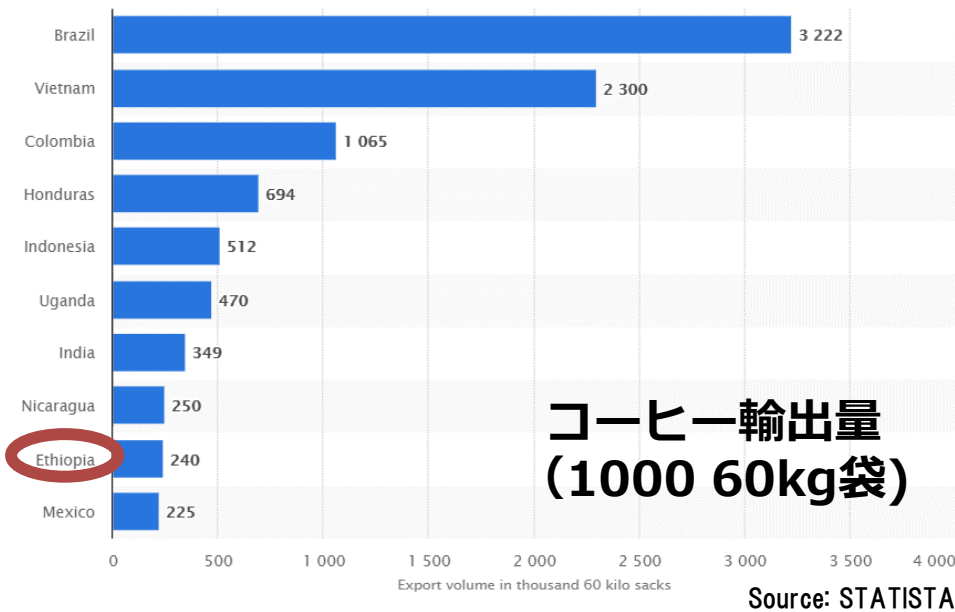
コーヒーの発祥？



エチオピアの主なコーヒー生産エリア



エチオピアのコーヒー生産・輸出



Rank Country

- 1 Brazil
- 2 Colombia
- 3 **Ethiopia**
- 4 Honduras
- 5 Peru
- 6 Guatemala
- 7 Mexico
- 8 Nicaragua
- 9 China
- 10 India

Arabica Production (1000 60 KG BAGS)



アラビカコーヒー 輸出量 (1000 60kg袋)

Source: index mundi

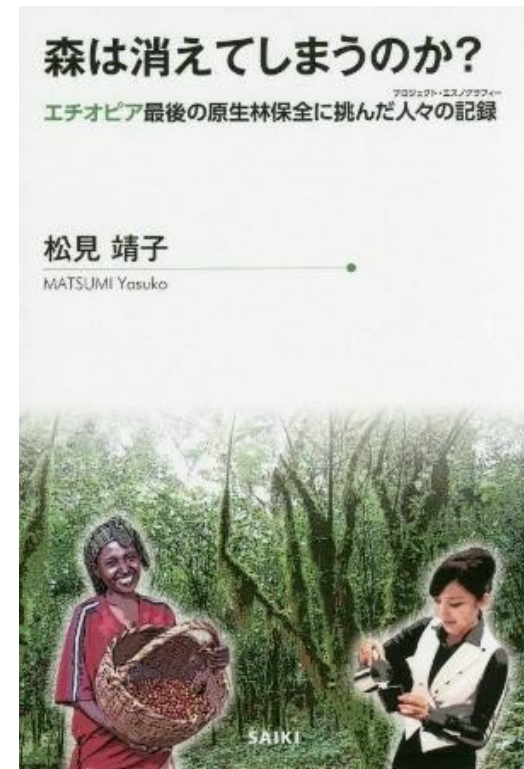
日本への輸出額 (USD Million)



2017 - USD 67.85 Million-2017
(Source: Trading Economics)

JICA支援の経緯

- エチオピア南西部（ベレテゲラ森林）を対象としたJICA技術協力（2003～Phase 1）
- 住民参加型の森林管理を目的に、生計向上として、国際認証の取得による森林コーヒーの付加価値（～2012、Phase 2）
- 森林コーヒー認証プログラムのモデル普及支援（2013～ Phase 3）
- 非森林コーヒー地域でのREDD+プログラム連携に資する活動追加（2016～、JIFPRO
 - ・ 国際耕種の協同企業体による実施）
- 2020年3月より遠隔実施、10月に終了

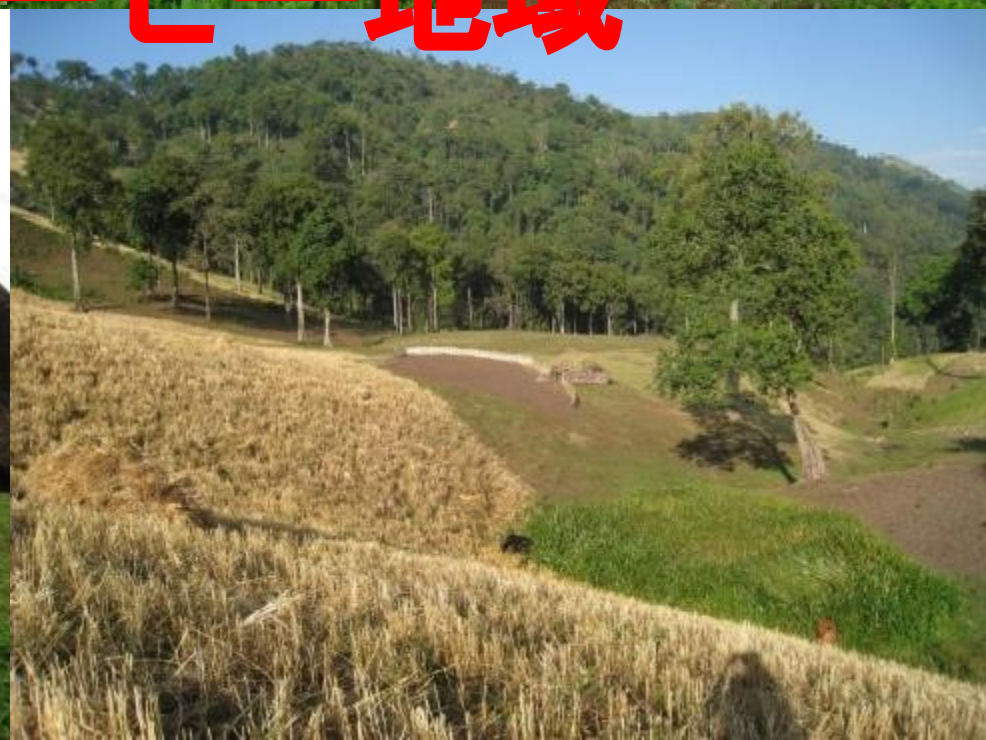




アジスアベバから400km (車で 7 時間)



非森林コーヒー地域



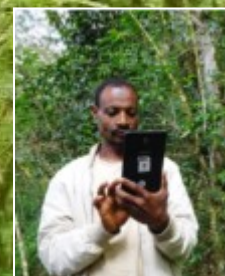
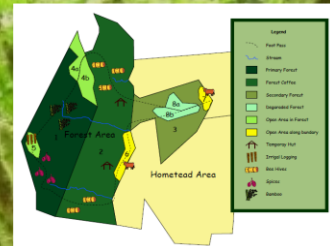


森林コ－ヒ－地域





生計向上



森林保全

行政官・住民の能力強化

国際認証レインフォレスト・アライアンスの取得



- 2007年から認証取得のための体制・仕組み作り
- コーヒー組合設立(7つ)、内部監査システム (ICS)
- 乾燥式コーヒー (Dry/un-washed) としての品質向上
- 日本企業を中心とした販路の開拓

乾燥式コーヒーの 品質向上



- 地面での乾燥→アフリカンベッド使用
- 色で分ける（地元市場 / 輸出用）
- 十分な乾燥（晴天下で3-4週間程度）
- 生産者全員が一定の管理・品質を維持する

民間企業との取組み

【UCC上島珈琲】

- 短期専門家の派遣（品質向上）
- 品評会（カップングイイベント）
- 「RA認証コーヒー」の輸入（36トン）

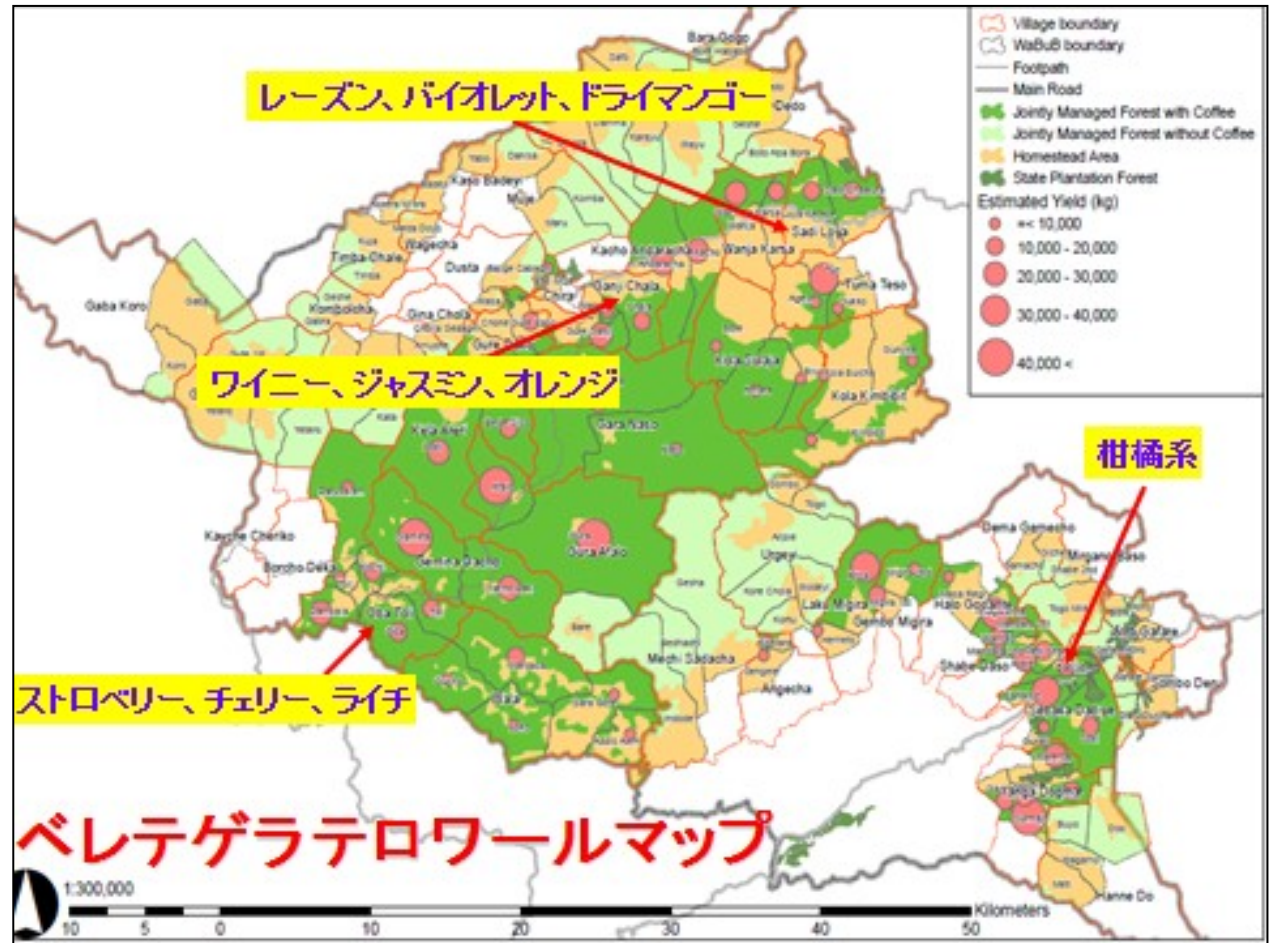


【アフリカンスクエアー】

- 「森林コーヒー」の輸入（3トン）
- Forest Honeyも輸入・販売



～自生コーヒーとしての特徴～



(JICA短期専門家作成)

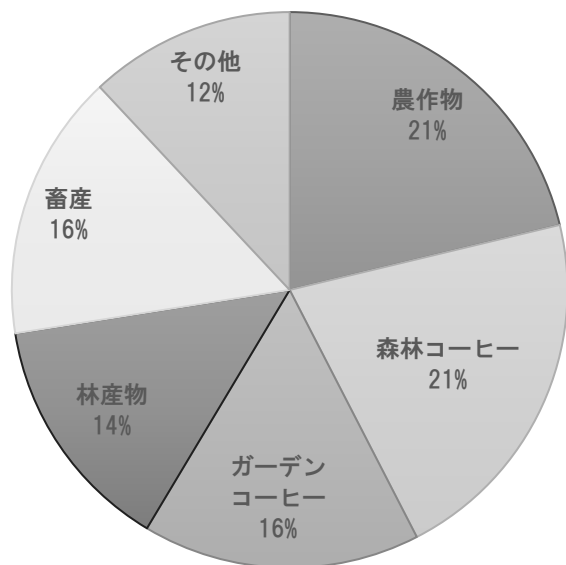
多彩なテロワール：
エリアによって味・フレーバーが異なる

森林コーヒーのトレーサビリティ

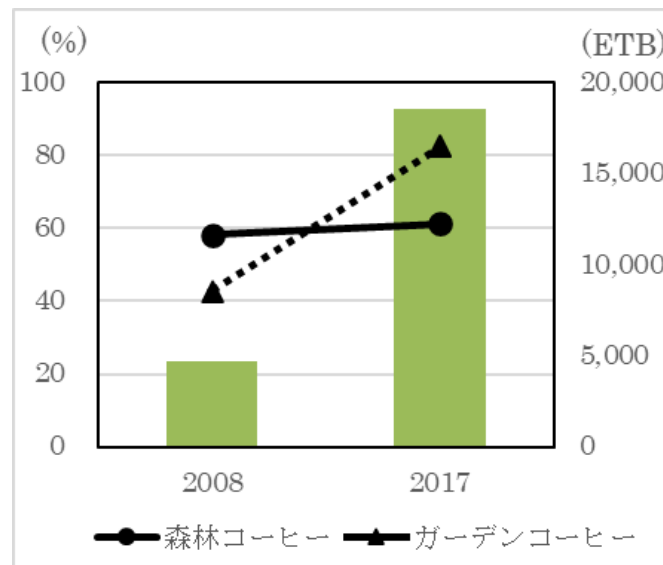


森林コーヒーによる収益

コーヒー生産者の収入源



現金収入と従事率の変化



- プレミアムによって森林コーヒー収入が約1.5倍
- 森林コーヒーから全収入の2～3割
- 現金収入源の多様化（特にガーデンコーヒー）

森林コーヒー生産システム

生産方式	樹冠率	樹木数	樹冠木の種数	コーヒー本数
	(%)	(本/ha)	(種/ha)	(本/ha)
フォレストコーヒー	84	465	32	3600
セミフォレストコーヒー	40-60	155	19	5800
ガーデンコーヒー	30-40	75	5-10	1000-3500
プランテーションコーヒー	30-40	75	5-10	3300

Source: ECFF (2005)



Ritchiea steudneri gilg
Cassipourea malosana
Sapium ellipticum
Olea welwitschii
Scheffleria abyssinica



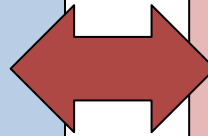
Cordia africana
Millettia ferruginea
Croton macrostachyus
Cassipourea malosana
Ficus sychomorus



新たな課題

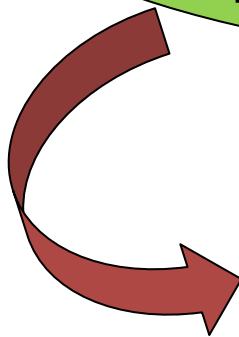
認証コーヒーによる利点・課題

コーヒー収益増
安定した販路
お墨付きによる信用



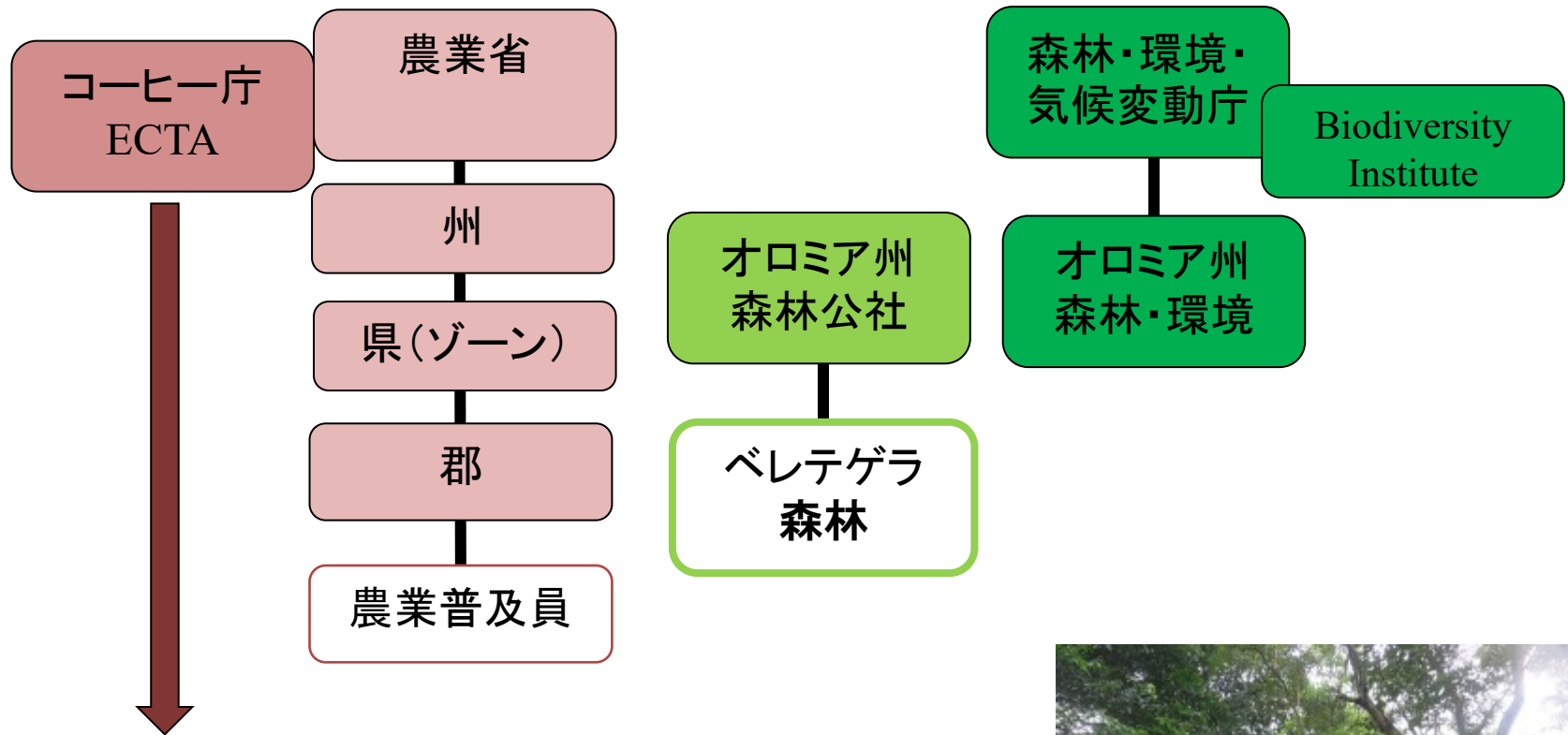
多様な小農生産者
混在（生産者・品質・
テロワール）
RA認証≠森林コーヒー

コーヒー政策・市場の変化
社会経済状況、改良品種、etc.



コーヒー生産・取引の活性化
森林コーヒーの生産環境に影響

コーヒーに関する政策の変化



- コーヒーの生産・マーケティングに関する統括
- 2025年までに生産性(ha当り) 倍増
- 2017年にコーヒー輸出の規制緩和



Choche Gene Bank



政府の規制緩和により国内外からの投資増
水洗式施設の急増、チェリー買取額の高騰

アラビカコーヒーの遺伝的多様性
生業の持続性確保の為に



A



B



C

エチオピア独自の定義・認証
森林コーヒー管理体制

未来の
コーヒー
へ投資

森林保全
認証

歴史
カルディ

品質
味



ETHIOPIA
Origin and Diversity

ETHIOPIAN™
FINE COFFEE

森林コーヒーの価値を発信



野生コーヒーシンポジウム
@アジスアベバ（2019年3月）



スペシャルティコーヒー展示会（SCAJ2019）
@東京ビッグサイト（2019年9月）



「アフリカ理解プロジェクト」(NGO)
との共催（2020年1月～）



コーヒー発祥の森は消えてしまうのか...